

農業総合センターの概要と 令和4年度の事業実績



専門研究所・地域研究所の配置

果樹研究所



果樹の新品種育成や栽培技術、病虫害防除技術の試験研究を進めます。

畜産研究所



乳牛、肉牛、豚、鶏の改良や飼育技術、飼料作物の生産、調製技術及び環境保全技術の試験研究を進めます。

会津地域研究所



会津地域の研究拠点として、適品種の選定、特産農産物の栽培技術を進めます。また種子の生産を行います。

畜産研究所沼尻分場



高冷地における肉用牛飼養技術や放牧地・牧草地管理技術の試験研究を進めています。

農業短期大学校



次代を担う先進的な農業者を養成するとともに、農業者等の研修を行います。

浜地域研究所



浜通りの研究拠点として、やませ気象、冬期多照下での基幹作物や周年施設や周年作物の技術開発を進めます。

浜地域農業再生研究センター



浜通りの避難地域等の営農再開・農業再生を行うために、平成28年3月に開設しました。現地実証研究を行い、農業者の営農再開を支援します。



5つの機能が連動する福島県の農業振興の拠点

平成18年に開設

県民との交流・
情報発信機能

- センターまつりなどの交流
- 視察受入れ、施設の利用促進
- 技術情報等の広報

地域農業支援
機能

- 技術移転セミナー・技術指導
- 技術情報の提供と相談
- 種苗等の生産・供給

食の安全・環境に
やさしい
農業支援機能

- 農薬・肥料等の適正使用等
- 植物防疫、病虫害発生予察
- 放射線モニタリング
- 有機農業の推進

技術開発・
企画調整機能

- 7つのテーマと
9件の大課題
(中課題37件、
小課題126件)

先進的農業者育成・
支援機能

- 農業短期大学校における
・実践的教育、就農者の育成
・農業者のレベルに応じた研修

技術開発・企画調整機能

県総合計画等に基づき策定した「福島県農林水産業の試験研究推進方針」(令和3年3月)に基づき研究計画を作成し、実用性の高い技術の迅速かつ効率的な開発に取り組む。

研究計画を作成する際には、市町村や関係機関・団体等を通して生産現場の課題を把握し、研究課題を設定する。

また、県だけでは解決できない課題については、外部資金を活用して国や他県の研究機関、企業等と共同で研究に取り組む。

得られた成果については、その性質に応じて下表の4つに区分し、ホームページ等で公開するとともにセミナー等で現場への普及を図る。

令和4年度の試験研究成果の公表数	
普及に移しうる成果	4
参考となる成果	38
放射線関連支援技術情報	9
営農再開支援技術情報	19

地域農業支援機能

1 技術移転セミナー

地域の状況に適した成果を生産者や関係機関等に提供し、意見交換を行う。
令和4年度は、各地で12回開催した。

2 成果発表会

その年度に実施した試験研究の成果をいち早く生産者や関係機関等に提供する。
令和4年度は、各地方で5回開催した。

3 鳥獣害防止対策の技術支援

会議や研修会等において、成果の情報提供や技術指導を行う。
令和4年度は、29回支援した。

4 農業技術相談

農業に係る技術相談に対応する。
令和4年度は、605件の相談があった。

5 種苗等の生産・管理

水稻・麦・大豆やオリジナル園芸品種の種苗等の生産、家畜の管理・生産を行う。
令和4年度の主な生産等は以下のとおり。

○水稻 原原種88kg、原種21,717kg ○アスパラガス 種子35,419粒
○イチゴ 原種苗165株 ○カラー 培養苗100個体 ○ブドウ 穂木19kg
○牛黒毛和種 種雄畜の繁養17頭 ○肉用牛 精液生産114,962本 など

先進的農業者育成・支援機能

農業短期大学校(アグリカレッジ福島)

1 農業経営部(令和4年度の学生数と卒業生の主な進路)

経営学科	水田	野菜	果樹	花き	畜産	計
1学年	13	15	6	2	9	45
2学年	15	10	6	6	11	48

卒業生の主な進路は、就農20名(親元9名、雇用11、研修1名)、農業協同組合7名、農業関連産業15名、ほか。

2 研修部(令和4年度の研修実績) ※この他に現地支援、施設利用研修など実施

- ◆ 就農研修 初級(春・秋コース)29名(春コース15名・秋コース14名)、中級15名
- ◆ 長期就農研修 農業短期大学校4名、果樹研究所6名
- ◆ 農産加工研修 3コース、9回、45名
- ◆ 農業機械研修 3コース、23回、190名

3 その他の特徴的な取組

- ◆ 福島大学食農学類との連携(本校教育に対する支援、福大生実習受入れ、学生交流)
- ◆ JA東西しらかわとの連携協定(地域農業発展、担い手の確保)
- ◆ JGAP認証 ※認証品目:米(玄米)、そば、小麦(新規)、トマト、きゅうり、ぶどう、かき
- ◆ 三重県農業大学校とのGAP交流(3年ぶり対面での交流、販売実習)
- ◆ 販売活動(大阪の米穀店で実演販売、福島空港、JR日暮里駅)

食の安全・環境にやさしい農業支援機能

1 農薬、肥料、飼料の適正な流通・販売等及び適正使用の推進

(1) 農薬の流通・販売と適正使用指導及び取締

農薬販売届出事務、農薬販売者立入検査、農薬適正使用指導 等

(2) 肥料・飼料の生産、流通・販売の指導

普通肥料の登録事務、指定混合肥料・特殊肥料生産及び肥料販売届出事務、肥料生産・販売事業場立入検査、

飼料・飼料添加物販売届出事務、飼料製造・販売事業者立入検査 等

2 植物防疫及び病害虫発生予察事業

主要農作物の病害虫発生状況調査、発生予察情報の提供、病害虫の診断同定、新奇病害虫の侵入警戒調査 等

3 農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング

令和4年度モニタリング検査数(出荷確認検査) 477品目、1万1,208件

4 有機JAS認証

令和3年度の認証ほ場面積 6,575a

(水田 4,897a 畑 1,608a その他 70a)

5 有機農業の推進

有機農業に関する技術の研究・実証、有機農産物の販売促進に係る支援、技術研修会等の開催、有機農業者組織の活動に対する支援

県民との交流・情報発信機能

1 農業総合センターまつり

センターを一般公開し、県民との食と農の絆づくりを進め、農業振興に寄与する。
令和4年度は、入場制限・事前予約制で各種イベントを開催し、308名が参加。

2 農的楽しみセミナー

県民に農業を身近に感じてもらうため、農業について楽しく学べる場を提供する。

令和4年度は、ブルーベリーや野菜に関する内容で計4回開催し、のべ39名が参加。

3 田んぼの学校

地元の小学生を対象に、米作りの体験学習を行う。
令和4年度は、6名の小学生を対象に4回実施。

4 イモ掘り体験

保育園児を対象に、サツマイモの収穫体験を行う。
令和4年度は、1回開催し、19名が参加。

5 交流エリアを活用した情報発信

交流棟では研究成果やセンターの取組を展示し、展示農園では水稻やブルーベリーを展示栽培し、展示母屋では小学生を対象とした農業学習コーナーを展示する。

6 視察受入れ

本部と各研究所において、広く視察見学者を受入れる。
令和4年度は、311回、のべ1,264名を受入れ。

第15回
農業総合センターまつり 入場無料 要予約

9月2日(金) 9:30~15:00 ・ 3日(土) 9:30~15:00

時間	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00
2日(金)	有線農業体験 収穫二講義 定員4.5名	センターツアー 定員3.0名	サツマイモ 収穫体験 定員2.5名	ブルーベリー 収穫体験 定員1.0名	有線農業体験 収穫二講義 定員1.0名	サツマイモ 収穫体験 定員2.5名	センターツアー 定員3.0名	サツマイモ 収穫体験 定員2.5名	ブルーベリー 収穫体験 定員1.0名	有線農業体験 収穫二講義 定員1.0名	
3日(土)	有線農業体験 収穫二講義 定員4.5名	センターツアー 定員3.0名	サツマイモ 収穫体験 定員2.5名	ブルーベリー 収穫体験 定員1.0名	有線農業体験 収穫二講義 定員1.0名	サツマイモ 収穫体験 定員2.5名	センターツアー 定員3.0名	サツマイモ 収穫体験 定員2.5名	ブルーベリー 収穫体験 定員1.0名	有線農業体験 収穫二講義 定員1.0名	

イベントの参加には予約が必要です。
定員を上回った場合は、お断りすることがあります。

センターまつりイベント参加申し込み先
福島県農業総合センター
TEL 024-958-1700
住所 郡山市日和田町高倉字下中道116

果樹研究所技術移転セミナー
9月9日(金)
10:00~15:00
TEL 024-542-4191
住所 福島市飯坂町平野字楢の東1